

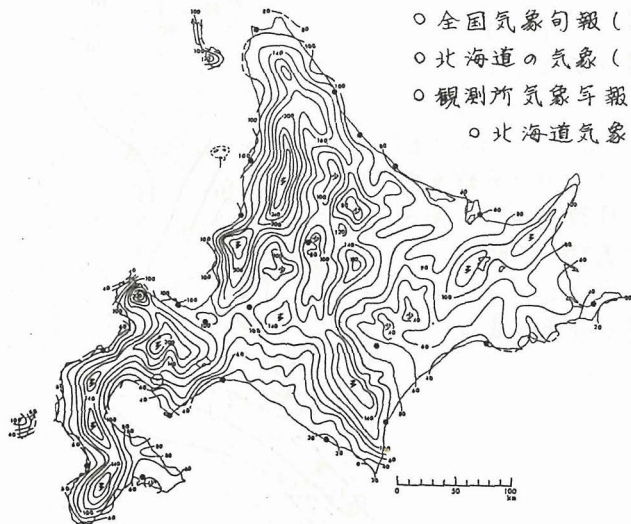
北海道積雪分布図(平均最深)について

増田久夫(農林水産省 林業試験場 北海道支場)

最近の北海道林業では、立地、植生上の問題としてササ類の種類、分布と積雪深との関係、また、気象被害の面からは多雪地帯のトドマツ幼齡造林地に発生する枝枯病と積雪深、寡雪地帯にみられる寒風害などが雪とのががわりあいの深い問題として注目されている。そのため、積雪に関する情報に関心がよせられているが、これまでに森林施業などに直接利用できるようなものがなかった。そこで、今回、上に述べた諸問題の検討のため、最近20年間の道内の積雪資料をもとに、縮尺60万分の1の北海道積雪分布図を作製したのでその内容、作製経過、問題点等について報告する。

分布図の作製要領

1. 本図は北海道内気象官署、旧農業気象観測所、地域気象観測所の昭和37年～56年の毎寒候期における最深積雪深を測点ごとに集計・平均して得た平均最深積雪深を60万分の1地方図にプロットし、等値線図法によって作図した積雪分布図である。
2. 資料の統計年数は20年とし、観測年数が18年以上の測点では実測年数の累年平均値をそのまま用いた。観測年数17年以下のところでは、原則的に期間補正にもとづく推定値を用いたが、基準点との位置的關係等で補正困難な場所もあり、そのようなところでは周囲との値を勘案しながら、その測点の累年平均値を参考値として用いた。分布図作製に用いた測点数は結果的には317点となった。
3. 等値線の線引きは内挿法により、線間隔は積雪深20cmごととしたが、線間の広い部分には積雪深10cmごとの補助線を入れた。
4. 各測点の積雪深は平均最深積雪深のほかに、観測期間中の最大値、最小値とも示した。
5. 分布図作製に使用した資料は次のとおりである。



北海道積雪分布図(平均最深)

- 全国気象旬報(別冊・月別統計値) 1962～1964
- 北海道の気象(月刊) 昭40～42年
- 観測所気象年報 昭43～54年
- 北海道気象月報(月刊) 昭55～56年
- 新版・北海道の気象 昭39年刊
- 改訂版・北海道の気象 昭48年刊
- 農業気象10年報(昭41～50年) 昭53年刊
- (参考)北海道森林気象略表 大13～昭18